

保育所の自己評価(総括)

令和 4年度

ころぼっくる第二保育園

<評価について>

評価をするにあたっては、以下のような基準で行なっています

- A — 理想的な状況にある状態
- B — 通常行われている状態
- C — 一部改善・あるべき姿に到達していない状態

I 保育理念

1. 子どもの最善の利益の考慮

項目	内容	評価			評価・改善
		A	B	C	
(1) 子どもの人権の尊重	子どもの人権に十分配慮するとともに、一人ひとりを大切にすることを保育を行っている。	9	10	0	保育士数は十分にいますが、手立てを必要とする子どもの人数も増えているため、どうしても手が足りない場合も出て来るが、一番必要とされる所に手をかけてあげられるよう努力をする。
(2) 保育方針・保育目標	保育理念・指針・保育目標について理解し作成している。	9	10	0	

II 子どもの発達援助

2-1. 子どもの福祉を増進することに最もふさわしい生活の場

項目	内容	評価			評価・改善
		A	B	C	
(1) 健康・安全で心地よい生活	子どもが快適に過ごせるような環境への配慮がされている。	16	3	0	環境は大いに利用して主体的な遊びを育てていけるように、職員の努力を後押しする。遊具に遊ばれるのではなく、工夫して自分たちの遊びが出来るように頭を柔軟にする。
(2) 子どもの主体的な生活	子どもの主体的な遊びを尊重している。	9	10	0	
(3) 人との関わりを育む環境	遊びや生活を通して、子ども同士の関係や保育士との関係が育つよう配慮している。	14	5	0	

2-2. 生活と発達の連続性

項目	内容	評価			評価・改善
		A	B	C	
(1) 子ども観・発達観の理解と共有	保育指針や理念を理解し、子どもを愛護しながら育むことを共有している。	13	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・上尾市に保障されている「巡回相談」以外に上尾特別支援学校と連携をして、気になる子どもの保育に力を入れている。 ・4年度には、「保育所等訪問サービス支援」や児童発達支援施設とも連携をして保育を行うことができた。
(2) 発達過程に応じた保育	発達過程を踏まえ、全体的な計画を作成し、保育している。	14	5	0	
(3) 個人差への配慮	一人ひとりの子どもの発達に配慮している。プライバシーへの配慮がされている。	13	6	0	
(4) 生活への連続性	長時間保育のための環境が整備され、保育の内容や方法が配慮されている。	14	5	0	

2-3. 養護と教育の一体的展開

項目	内容	評価			評価・改善
		A	B	C	
(1) 乳児保育	乳児保育のための適切な環境が整備され、保育の内容や方法が配慮されている。	16	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ遊び場所でも担任の工夫により、遊び方を変えている。 ・自然探索などは、どの学年においても興味深く遊ぶことが出来ているので、恵まれた環境を大いに利用し、4年度は、芋虫からサナギ、アゲハ蝶という育ちを子どもたちと共に楽しむことができた。
(2) 1・2才児の保育	1,2才児の保育のための適切な環境が整備され、保育の内容や方法が配慮されている。	13	6	0	
(3) 3・4・5才児の保育	3,4,5才児の保育のための適切な環境が整備され、保育の内容や方法が配慮されている。	13	6	0	
(4) 小学校との連携	小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者とのかかわりに配慮している。	12	7	0	

2-4. 環境を通して行う保育

項目	内容	評価			評価・改善
		A	B	C	
(1) 保育の環境 ・人的環境 ・物的環境 ・空間・自然や社会現象	子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	11	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ころぼっくるの森の遊具については、修繕計画をたてて補助金を申請したものの申請が通らなかったため、今年度は自己資金で少しずつ修繕を行う計画をたてていく。 ・子どもたちがより安心して遊べる場所を保障していく。
	子どもが基本的に生活習慣を身につけ、積極的に活動ができるような環境が整備されている。	11	8	0	
	子どもが自発的に活動できる環境が整備され、身近な自然や社会とかわれるような取り組みがされている。	9	10	0	
	遊びや生活を通して、人間関係が育つよう配慮している。	12	7	0	
(2) 環境の構成 ・再構成	快適な環境に整備や空間を使つての工夫している。	6	13	0	

Ⅲ 保護者に対する支援

3-1. 家庭との緊密な連携

項目	内容	評価			評価・改善
		A	B	C	
(1) 子どもの成長の喜びを共有	子どもの様子について日々、保護者に伝えるなど情報を共有し、成長を喜び合い、共有できる機会を設けている。	11	8	0	・4年度は、前年度に比べると少しずつ保護者との懇談を直接行うことも出来たが、まだまだ元には、戻せなかった。 ・今年度、コロナが5類に移ったら少しずつ元の状態に戻していこうと考えている。
(2) 保育内容等の説明・応答責任	入所時、懇談会、保育参加等の機会をとらえ、説明・応答する機会を設けている。	15	4	0	
(3) 子育てに関する相談・援助	相談・苦情・意見などは、随時所長・副所長が窓口となり対応している。	9	10	0	
(4) 保護者への個別支援	一人ひとりの保護者の状況を踏まえ、子どもと保護者の安定した関係に配慮し、支援している。	11	8	0	

3-2. 地域における子育て支援

項目	内容	評価			評価・改善
		A	B	C	
(1) 保育所機能の開放	公開保育や電話相談、交流保育など子育て支援のための取り組みを行っている。	3	15	非回答1	・新型コロナウイルス感染症の心配がある中で、園庭開放で地域への支援を行ってきた。 ・今年度は、読み聞かせなど通じて子育て支援に貢献していきたい。
(2) 関係機関との連携	保育所として必要な社会資源を明確にし、地域の関係機関との連携が適切に行われている。	5	14	0	
(3) 情報提供	保育所が有する機能を地域の子育て支援に関する情報提供をしている。	4	14	非回答1	

IV 保育を支える組織的基盤

4-1. 健康及び安全の実施体制

項目	内容	評価			評価・改善
		A	B	C	
(1) 健康の保持及び増進	全職員が健康及び安全に関する共通理解を深め、適切な分担と協力の下に年間を通じて取り組んでいる。	11	8	0	・指摘をうけている「ウッドデッキ」は、だましだまし使っているが、決定的に直すためには、全部を張り替える必要があるので、今少しの間は、様子をみていきたい。
(2) 安全・衛生管理	安全管理のマニュアルがあり、緊急時に備えた安全対策が実施されている。	9	10	0	
	施設の環境を常に適切な状態に保持し、衛生管理に努めている。	9	10	0	
(3) 家庭や保健・医療	安全対策のために職員への共通理解、体制作りを図るとともに家庭や諸機関との連携をとっている。	10	9	0	

4-2. 職員の資質向上

項目	内容	評価			評価・改善
		A	B	C	
(1) 保育の計画	全体的な計画・年間指導計画に基づき、月間計画・週案・日案及び個人の計画を行っている。	15	4	0	・研修報告は、必ず記述多めの様式を使って文書能力を高め、子どもたちが初めて触れる言葉を大切にしていく。 ・自己評価はホームページにUPLして振り返りが出来るように示す。
(2) 保育士等の自己評価	保育計画に添い自らの実践と、子どもの育ちを振り返り、自己評価を行い、保育の改善を図っている。	10	9	0	
(3) 保育所の自己評価	自己評価表に基づき、行っている。	10	9	0	
(4) 研修	外部研修・園内研修など職員に応じた研修を行い、資質の向上に努めている。	12	7	0	

4-3. 運営・管理, 社会的責任

項目	内容	評価			評価・改善
		A	B	C	
(1) 法令等の遵守	遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	13	6	0	・今後進んでいくICT化に対して、個人情報をデータ上で守っていくことを周知して、全職員がそのことを意識して仕事をするようにしていく。
(2) 個人情報の取扱と苦情解決の責任	個人情報の取り扱いは誓約書で確認し、苦情・意見などは随時所長・副所長が窓口となり解決に向けて対応している。	12	7	0	
(3) 施設長の責務	自らの役割と責任を明確にし、理解を図っている。	12	7	0	

総括

良い点

・配慮が必要な児童に対して、意識して配慮の手を差し伸べ、発達支援を行うために、園独自で上尾特別支援学校と連携をして発達を促す方法について学んでいることは、とても前向きである。更に、その時々により良い方法を学ぶために特別支援学校との結びつきはベストであると思うので、引き続き児童の巡回相談を行っていく。

・誰もが必要な研修を受けられていること、また、時勢にも合わせて園内研修（虐待・不適切保育）を行ったことは、評価できる。（職員ひとり一人の危機感や意識の向上に役立つものとなった。）

改善すべき点

・何より、ころぼっくるの森の遊具についてまだ手付かずにいるのは、良くない考える。4年度の終わりに補助金申請が通らなかったことが分かったので、自費で少しずつ修繕を行うよう計画をたてなければならない。予算は取ったので、一番大きい部分（ツリーハウス）から修繕をすすめていきたい。

・ウッドデッキも修繕の必要があるが、こちらはまだ我慢できる程度だと判断しているので、こちらの張り替えについては、今後検討をしていくようにする。

・ICT化について皆で学んで使いこなすようにしていく。